

会 議 録

1 会議名

令和5年度第4回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・協議事項

（1）「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」の諮問に対する答申について（公開）

（2）自主的審議事項（一部非公開）

（3）その他（公開）

・総合事務所からの諸連絡について（公開）

・その他（公開）

4 開催日時

令和5年8月24日（木）午後6時30分から午後8時5分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、大滝健彦、片桐利男、佐藤 均、関澤義男、高野幸夫、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：吉川区総合事務所

風間所長、平山次長、山本市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 委員 9 人の出席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：佐藤委員

【山岸会長】

- ・ 挨拶

【平山次長】

- ・ 議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

・ 次第 3 報告事項(1)会長報告であるが、頸北 4 区地域協議会委員が地域独自の予算の理解を深めるため、直接、地域政策課を訪問し課長と副課長にお願いをしたが、やはり総合事務所に説明してもらおうよう指示された。ただ、他区にも既に周知しており、総合事務所から改めて説明いただくことはできないし、地域政策課から来ていただかないとこの会はできないと思い、なぜ新規事業で、市が主体となっているもの・事業者が主体となっているもの等区ごとでバラツキが起きるのはどうなのかという話をした。しかし、地域政策課は、「総合事務所にも限界があります。」とおっしゃっていた。どのように受け取ればよいのかと思い、何をもって限界という言葉を使ったのか考えている。皆さんもどういう意味なのかを考えていただきたい。私は、総合事務所を馬鹿にしていると捉えた。やる気ややり方の限界を言ったのか。私の解釈が間違っているかもしれない。独自予算の当初の説明は、数字に詳しいのは総合事務所なので、提案時の相談は総合事務所でやってくださいと言われていた。ただ、総合事務所が市民の提案の優劣を決めて、総合事務所で決着がつくことがあるのは、危うい話である。三和区は池の遊歩道のハード事業が入っている。それはオニバス云々のソフト事業とセットなのだ。他区はハード事業が入っていて、市がやる。元々、他の団体が行っていることと一緒にものだという説明と同時に、吉川区なら、どういう方法で行けば我々の望んでいる道の駅の活性化・尾神の観光活性化にどのように繋がられるのか、ずっと考えている。今日、ある程度、このように出したいと事務

局から説明させてもらおう。8月末が一応の締め切りとなっている。地域振興班長にはお世話になって、数字を入れれば提出できるのではないかと考えている。是非、間に合わせたい。

- ・続いて(2)委員報告をお願いします。

【大滝委員】

- ・8月5日、4年ぶりにやっただれ祭りが盛会に実施された。各地域づくり会議の役員には、沢山の人数を動員いただいた。子供たちも喜んでいて、お礼申し上げます。

【山岸会長】

- ・私も出席したが、関係者の皆さん、ご協力いただき感謝申し上げます。

【佐藤副会長】

- ・8月9日越後よしかわ酒祭り実行委員会に勝穂地域づくり会長の立場で出席した。冒頭に、実行委員会会長から中止したいという発言があった。理由として、日本酒200銘柄が集まらない、90人のボランティアの招集が難しいと説明があり、参加された方からは、規模と時期を変えて開催を検討してはどうかとの意見があったが、会としては中止が決定した。

【山岸会長】

- ・今後、実行委員会から正式に地元に向けて通知が出ると思うが、この件に関して意見はあるか。実行委員会は、まちづくり吉川が主体となっている。個人的には残念である。

【関澤委員】

- ・中止理由は理解し難いが、最近コロナが流行りだしてきた。しかし、短期間で回復しているが、酒祭りはやって欲しいが仕方ないと思う。酒祭りを縮小すると言っても、利き酒がなければ何の意味もない。

【片桐委員】

- ・残念であるが、今の状況では力がないから200銘柄集められない。

【山岸会長】

- ・残念である。色々なアイデアもあるのではないかと。時期にもこだわらず、利き酒ではなく酒を楽しめばよいのではないかと。拘り過ぎて継続できないのは本末転倒である。継続こそ力なりでは。しかも東京吉川会が当初から出店しにきていただいている。コロナで交流できていないが、久しぶりの交流ができる機会でもあった。昨日、まちづくり吉川の片桐会長に直接伝えたが、区民で理解する人は多くはないと思う。

あれもこれも事業を絞らないよう伝えたが、時既に遅し、という結論を出したと報告させていただいた。

- ・続いて(3)事務局報告をお願いする。

【平原班長】

(資料 1-1～1-3「地域活性化の方向性について」に基づき説明)

(地域協議会だより (8/25 発行・臨時号) について報告)

- ・8月7日、保健センターで公民館主事、公民館運営委員2人と地域協議会委員9人で懇談会を行った。協議会委員の中にも、公民館運営委員を兼任する方が多く、それぞれの地域の公民館活動や分館施設の実態を把握した上での意見交換となった。公民館主事からは、吉川区内の公民館事業・公民館活動は、市内でもトップクラスの実施率であるが、その活発な事業実施・活動と裏腹に、多様な公民館活動を支えることができる機能を完備した「館(ヤカタ)」がなく、新設又は現資機材を活用した機能の充実を望む声も聞かれた。また、運営委員からは、館と事業・活動は別の問題という意見や、各地域・町内にある集会場も活動や交流の場となり得るという意見が出されたほか、各々の地域で人口減少が進み、活動の在り方・やり方自体を考え直す時期に来ているのではないかという意見が出された。協議会委員からは、市が進める分館施設の廃止は、地域の衰退を加速させる恐れがあることや、公民館活動は地域住民の学びの場であるので、なかなか難しい課題であるが、区全体をカバーできるような仕組みづくりを考えていくべきではないか、などの意見があった。今後、協議会では、この懇談会で交わされた意見やこれまで地域で行った意見交換の内容などを踏まえ、自主的審議を進めていただきたい。

【山岸会長】

- ・当日、欠席された竹直の委員、意見があれば発言していただきたい。運営委員、公民館主事から、当時の総合センターの機能を無くして保育園にした。旧総合センターに公民館機能があり、分散して総合事務所の中に入ったが、調理場の利用等、本来の公民館機能が集約できていない、との話があった。
- ・次の報告をお願いする。

【平原班長】

- ・7月21日の梅雨明け発表以降、まとまった降雨がなく、農作物等に大きな影響が出ている。市は、8月7日に相談窓口を開設、8月10日に農林水産部長を本部長とする上越市農地渇水対策本部を設置し、消雪用井戸利用、かん水用ポンプ購入、ポンプ

燃料、家畜の暑熱対策の支援を行っている。8月18日には市、県、JAによる合同被害調査を実施し、22日には県に支援要望、昨日は市議会農政建設常任委員会の現地視察も行われた。今後も、農地の渇水・異常高温への対応を引き続き進めていく予定である。

- ・大滝委員からも発言があったが、越後よしかわやっただれ祭りが8月5日に開催された。地元小・中学生が製作した200基を超える稲穂竿灯や地域の農業法人から寄贈いただいた奉納米を会場に飾り、吉川高等特別支援学校がダンスなどを披露したほか、神輿の運行も行われた。今年は4年ぶりに会場を原之町商店街に移し、大小露店が並ぶなか、昨年の1,000人を上回る1,500人の入込があった。会場の皆さんからは、「昔は朝市も開催していた原之町十字路が今日のように賑わっていると、懐かしいし、嬉しい。」「地域には必ず祭り好きの『お祭り男』がいて、祭りの開催を今か今かと待っていたものだが、新型コロナウイルス感染症で、さぞ長らく待ったことだろう。このような祭りはずっと続けて行ってほしいし、後世に伝えることが自分たちの義務だと思う。」「(地元中学生ですが、)大勢の皆さんが自分たちの店に来てくれたことが嬉しかったです。こうやって祭りに参加して、皆さんと祭りを楽しめる嬉しさは、一生の思い出です。」との声が聞けた。

【山岸会長】

- ・4協議事項(1)「上越市過疎地域持続的発展計画変(案)についての諮問に対する答申について」に入る。先回の地域協議会で諮問があり、今回、答申を出したいと考えている。委員には、意見がある場合には、8月3日までに事務局に連絡する話になっていたが、どのような状況か。

【平原班長】

- ・山岸会長から意見をいただいたが、その他は連絡等はない状況である。会長の意見を反映させた形で答申文案を作成し、協議会資料2として配付した。

(資料のとおり説明)

【山岸会長】

- ・この計画にオーレンプラザが入っていることがおかしい。過疎債の枠は決まっているのか。

【風間所長】

- ・計画の中に総額は入っていない。その都度、予算要求の段階でその事業に補助金を使うか、過疎債を使うか、一般財源を使うか、と財源を判断している。全体のバラ

ンスを見ながら、過疎債を充てる事業かを判断している。

【山岸会長】

- ・委員から何かあるか。

(質疑はなく、原案のとおり答申することで了承された。)

【山岸会長】

- ・4 協議事項(2)自主的審議事項等・公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用についてである。事務局報告にあったとおり、公民館関係者との懇談やこれまで地域に入って住民の皆さんとも、公民館分館や公民館事業について意見交換を行ってきた。今後は、ここで話し合った意見や要望を意見書としてまとめる段階である。まずは意見書の素案を作り、それを作り込んで成案とするような作業が一番良いと思っている。提案であるが、各部会から1名ずつ委員を選出して、事務局からも手伝ってもらい、素案を作ってはどうかと考えている。各部会から1人ずつで計3人。そこに事務局も加わっていただく。後程、部会毎に決めていただき、その中からリーダーを決めていただく。

【山岸会長】

- ・中村委員、大滝委員、片桐委員の中からリーダーを選んでいただき、素案は10月下旬か11月上旬ぐらいのスケジュール感で作成したい。その後、全員協議を行い、内容を決定したい。

(後程、リーダーは中村委員が選出された。)

- ・次に、4 協議事項(2)自主的審議事項等・地域独自の予算事業の提案等検討についてである。

(協議は非公開)

【山岸会長】

- ・4 協議事項(3)その他である。委員から何かあるか。

【橋爪委員】

- ・8月7日の公民館の懇談会で感じたことだが、公民館主事もだいぶ長くなってきており後継者も育てなければならない。今の事業の更なる発展を続けていただきたい。

【山岸会長】

- ・事務局報告はあるか。

【平原班長】

(視察研修について、資料のとおり説明)

【山岸会長】

- ・道の駅のサポーター、ボランティアについてである。事業内容は道の駅から要望された作業になると思うが、ボランティアは登録制とし、作業に参加していただこうと考えている。道の駅の駅長である杜氏の郷の社長と話して、事務局機能を置くことはやぶさかではないとのことである。ただし、ボランティアの導入により市からの委託料等が削減されては困るという話をされた。今、あるもので足りないのだから、そこはしっかり申し上げていかなければならないと考えている。ゆっつりの郷と杜氏の郷の交差点の見通しを悪くしているアジサイの株を切るボランティアはあるか。道の駅の環境はほったらかしという人もいるので、声掛けしてもらえれば、一緒に取り組んでも良いと考えている。市の予算も、ボランティアが行うのであれば、その分も予算をつけてもらうようにしたい。担当部局に強くお願いしたいと思っている。委員にも区内全域にも登録をお願いしたい。

【五十嵐委員】

- ・個人でも団体でもよいが、ボランティアとして参加したい。会長の言うとおりの場所はもっと綺麗にすれば、道の駅らしくなる。

【山岸会長】

- ・総合事務所からの諸連絡はあるか。

【平山次長】

(原子力防災訓練実施に関する資料について説明)

【平原班長】

- ・今年5月19日、川谷地内の林道で、白骨化した人の頭蓋骨の一部が発見されたが、今年4月20日から山菜取りに車で出かけたまま行方不明になっている女性2人のうち1人のものと判明したという警察発表が8月18日にあった。大潟区土底浜の女性のもので、死因は不明である。市は、警察発表以上のことは把握していないが、未だ車も発見されていないため、見かけた際は、上越警察署に連絡いただきたい。

【山本グループ長】

- ・次回9月の地域協議会で、今年度末をもって廃止予定の東田中、勝穂、泉谷の公民館3分館廃止に関する諮問をさせていただく予定である。

【山岸会長】

- ・事前に地域協議会に意見を聞かなければならないとなっているのに、今回の諮問は本当によろしくないと思っている。地域に入って3つの選択をしてくださいという

前に、教育財産から普通財産に変更することを諮問しなければならないのに、どうもこの流れで来て、地元で普通財産に変更し廃止の選択をさせてから地域協議会に諮問することは、非常に地域協議会を馬鹿にしている。これは記録に残るので敢えて申し上げる。しかし、諮問に来られるので答申で答える。皆さん何かあるか。

(意見なし)

【平原班長】

- ・4区合同研修は、幹事区の頸城区から連絡があり、11月25日土曜日午後、会場は希望館でテーマは頸北地区の歴史という連絡が来ている。正式な案内は後程送るが、予定していただきたい。

【山岸会長】

- ・次第6 その他で何かあるか。

(案件はなかった。)

【山岸会長】

- ・次の日程は、9月21日(木)18時30分からとする。不確定であるが9月14日の勉強会の予定も、入れていただきたい。

(了解の声あり)

【薄波副会長】

- ・以上で第4回地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:025-548-2311 (内線213) E-mail:yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。